

# OPEN FORUM 2019

オープンフォーラム

## 企業固有価値の継承と 地域固有価値の継承

### 2020年1月25日(土)

14:00-17:00 (開場 13:30)

同志社大学 良心館 3F RY305

#### PROGRAM

- 14:00-14:45 基調講演「京都老舗企業におけるイノベーション」 / 松岡憲司 (龍谷大学名誉教授)
- 14:45-15:30 基調講演「京都老舗企業 伝統派 vs. 革新派」 / 辻田素子 (龍谷大学経済学部教授)
- 15:30-15:45 休憩
- 15:45-17:00 パネルディスカッション「固有価値の継承」  
・コーディネーター / 八木匡 (同志社大学経済学部教授)  
・パネリスト / 林廣茂 (中国・西安交通大学管理大学院 客員教授 / 事業承継学会理事)  
飯塚まり (同志社大学ビジネス研究科教授)  
松岡憲司 (龍谷大学名誉教授)  
辻田素子 (龍谷大学経済学部教授)

入場  
無料

事前申込  
不要

#### CONTACT

同志社大学 ライフリスク研究センター事務局

TEL 075-251-3728 FAX 075-251-3727

E-MAIL rc-risk@mail.doshisha.ac.jp

[同志社大学 今出川キャンパス]

CAMPUS  
MAP



主催：同志社大学 良心の実証的・実践的研究プロジェクト  
事業承継学会  
同志社大学 ライフリスク研究センター  
後援：同志社大学 創造経済研究センター  
京都府 / 京都市

# 企業固有価値の継承と地域固有価値の継承

企業の五大経営要素として、企業文化・風土・価値観（企業の性格・企業理念など）、企業のミッション（存在理由）、経営資源、プロセス（顧客価値創造プロセス・インプットとアウトプット・サプライチェーンとヴァリュチェーン）、組織構造を考えます。企業が持つ固有の文化は、「不易流行し・経路依存し・時代の特性を反映」しつつ進化し、他の経営要素を規定します。そして、企業文化をはじめ五大経営要素のすべてが、時代の文明システムとの相互作用で、不易流行・経路依存・時代の特性を反映して、その時々経営戦略を左右します。経営哲学が企業の固有文化を創り、固有文化は企業を取り巻く文明システムとの相互作用で形成されると考えています。企業文化そして地域文化は、固有ですが固定ではなく、あれかこれかの二項対立ではなく二項動態で、ローカルと同時にナショナルでありグローバルでもあります。このように、文明システムとの相互作用を続け、素早く、効果的に変革・イノベーションをすることができる、ダイナミック・ケイパビリティを持った企業が持続します。このような課題をフォーラムにて議論できればと考えております。



## PROFILE



### 松岡 憲司

龍谷大学名誉教授

1950 年生まれ。神戸大学大学院経済学研究科博士後期課程単位取得退学。神戸大学博士（経済学）。尾道短期大学、大阪経済大学を経て、龍谷大学経済学部教授。現在、龍谷大学名誉教授。編著『今日からみた、日本の老舗、世界の老舗』（新評論、2019年）



### 辻田 素子

龍谷大学経済学部教授

京都大学文学部卒業、京都大学文学修士（心理学専攻）、ロンドン大学修士（M.Sc.）。1988～1998年まで読売新聞大阪本社勤務。一橋大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学後、静岡産業大学経営学部講師を経て、2006～2014年龍谷大学経済学部准教授、2014年より現職。



### 林 廣茂

中国・西安交通大学管理大学院客員教授／事業承継学会理事

中国・西安交通大学管理大学院客員教授。外資系コンサル会社アジア地区 CEO、滋賀大学大学院教授、同志社大学大学院ビジネス研究科教授を経て現職。前・事業承継学会代表理事（2019年11月30日まで）。マーケティング・国際経営・国際マーケティング・経営哲学。



### 八木 匡

同志社大学経済学部教授

京都大学経済研究所助手、名古屋大学経済学部助教授を経た後、現在同志社大学経済学部教授、日本経済学会理事（2002年～2007年）、文化経済学会〈日本〉会長（2018年～）

主著：European Economic Review 等海外学術雑誌等に論文を多数掲載。『教育と格差』、『スポーツの経済と政策』、『スポーツの組織文化と産業』、The Kyoto Manifesto for Global Economics: The Platform of Community, Humanity, and Spirituality等の著書を執筆。



### 飯塚 まり

同志社大学ビジネス研究科教授

多くの留学生の集うグローバル経営研究専攻（英語 MBA）の立ち上げに関わる。同学ウェルビーイング研究センター・センター長。日本グローバルコンバクト・アカデミックネットワーク代表としてSDGsを推進中。同志社大学心理学部卒業後、スタンフォード大学 MBA、京都大学博士。世界銀行（ワシントン DC）等。マインドフルで、コンパッションートなビジネススクール教育を京都から世界へ向けて展開するのが夢。編著『進化するマインドフルネス ウェルビーイングへと続く道』